

5S推進度チェックシート

採点方法

- ① 各項目について、「評価基準」を参考にして、「採点欄」に「0～5の6段階」で工場の実力値を評価する。
- ② 「重要度考慮点」には、「重要度」÷5×「①で付けた点数」を計算して記入する。
- ③ 全項目の「重要度考慮点」の総和が、100点満点中の実力値となる。
- ④ 83ページのように、レーダーチャートに③の結果を入れ、製造基盤の大きさを確認し、強化に役立てよう。

※評価基準を確認し、どうすれば現状より高い点がつけられるのか具体的に考察することが重要。

No	重要度	評価項目	採点欄	重要度考慮点	評価点	評価基準
1	10	整理 ＜実行度＞			5 3 1	要るものと要らないものが明確に分類され、要らないものが定期的に処分されている。 要らないものを置く場所が決められており、徹底されている。 要るものと要らないものが区別され定期的に不要なものを処分している 要るものと要らないものが混同しており 不定期に処分する
2	10	整頓 ＜実行度＞			5 3 1	3 定が完全にできている 3 定がほぼできている 1 3 定がほとんどできていない
3	10	清掃・清潔 ＜実行度＞			5 3 1	清掃は時間を決めて毎日全員で役割を明確にして行われており、全体がほこり等がなくきれいな職場が保たれている 清掃がほぼ毎日行われており、全体的にきれいになっている 清掃は、班・グループ任せになっている
4	10	しつけ ＜実行度＞			5 3 1	全員がきちんと挨拶ができる職場である ほとんどの人が挨拶ができる職場である 一部にしか挨拶ができる人がいない
5	10	しつけ ＜実行度＞			5 3 1	作業員全員が休憩時間・休憩場所・喫煙場所・私物の置き場所等を守っている 一部の作業員が休憩時間・休憩場所・喫煙場所・私物の置き場所等を守れていない 休憩時間・休憩場所・喫煙場所・私物の置き場所等を守れていない人が目立つ
6	10	5Sルール			5 3 1	5S活動を進めるための社内ルールが整備されており周知徹底されている 5S活動を進めるための社内ルールが整備されている 5S活動を進めるためのルールがないままの活動となっている
7	10	5S浸透度			5 3 1	全員が5Sの定義・重要性を理解している 半数程度は5Sの定義・重要性を理解している 一部の人が5Sを知っている
8	5	5S教育資料 (5S視点育成)			5 3 1	5S教育資料に基づき定期的に5S教育が行われている 5S教育資料がある 5S教育資料がないため必要ときにOJTにより教育している
9	5	5S実施記録 ・掲示			5 3 1	5S活動が記録され掲示板に常に最新版が貼られている 半期に1度程度5S活動の記録・掲示を行っている 時々5S活動の記録・掲示を行っている
10	5	5Sの定量化			5 3 1	5S活動を定量的（改善件数・改善金額）に評価するルールがあり毎月定量化できている 5S活動は改善件数のみで評価され毎月見える化できている 5S活動はしているものの定量化していない
11	5	5S評価			5 3 1	5S活動に対し、定期的に明確な評価基準のもとに評価される仕組み・ルールがある 不定期ではあるが5S活動が評価されている 評価する仕組みがない5S活動となっている

12	5	5Sパトロール			5	月に1回以上5Sパトロールが行われ、適切な指摘が行われており、改善前・改善後の記録がなされている
					3	定期的に5Sパトロールが行われ、適切な指摘が行われている
					1	5Sパトロールの仕組みはなく、管理者の都度指摘型で進んでいる
13	5	責任者			5	5S推進のための責任者が明確になっており、具体的な役割を果たしている
					3	5S推進のための責任者が明確になっている
					1	5S推進のための責任者が明確になっていないままの活動となっている